

古河市男女共同参画情報通信

～「意識」から「行動」へ、目指そう男女共同参画社会。～

みなさんこんにちは！人権・男女共同参画室です！

男女共同参画情報通信 第10回をお届けします！

Vol.10

古河市

人権・男女共同参画室

平成30年3月発行



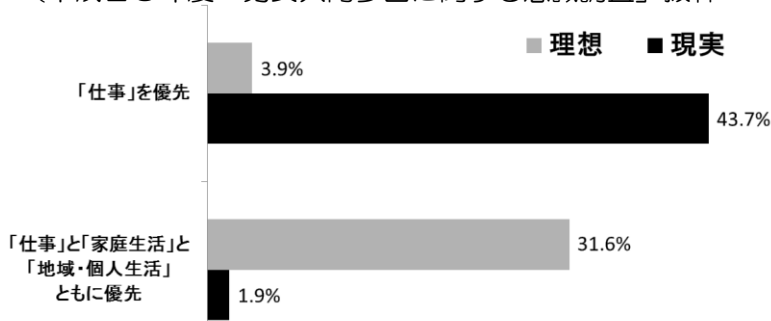
第10回のテーマは「働き方の見直し」です。

平成28年度に市が実施した「男女共同参画に関する意識調査」の「生活の優先度」では、理想は「仕事と家庭生活と地域・個人生活ともに優先」という回答が31.6%でしたが、現実での回答は1.9%となっており、「仕事を優先」という回答が43.7%となっています。

●仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度
(平成28年度「男女共同参画に関する意識調査」抜粋)

平成28年度

「男女共同参画に関する意識調査」



理想と現実のギャップについて

ワーク・ライフ・バランスの保たれた働き方が望まれており、働き方の見直しが求められています。

働き方の見直しに向けた「10の実践」

※内閣府「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた「3つの心構え」と「10の実践」より

- 1 会議のムダ取り—会議の目的やゴールを明確にする。参加メンバーや開催時間を見直す。必ず結論を出す。
- 2 社内資料の削減—事前に社内資料の作成基準を明確にして、必要以上の資料の作成を抑制する。
- 3 書類を整理整頓する—キャビネットやデスクの整理整頓を行い、書類を探すための時間を削減する。
- 4 標準化・マニュアル化—「人に仕事がつく」スタイルを改め、業務を可能な限り標準化、マニュアル化する。
- 5 労働時間を適切に管理—上司は部下の仕事と労働時間を把握し、部下も仕事の進捗報告をしっかりと行う。
- 6 業務分担の適正化—業務の流れを分析した上で、業務分担の適正化を図る。
- 7 担当以外の業務を知る—周りの人が担当している業務を知り、業務負荷が高いときに助け合える環境をつくる。
- 8 スケジュールの共有化—時間管理ツールを用いてスケジュールの共有を図り、お互いの業務効率化に協力する。
- 9 「がんばるタイム」の設定—自分の業務や職場内での議論、コミュニケーションに集中できる時間をつくる。
- 10 仕事の効率化策の共有—研修などを開催して、効率的な仕事の進め方を共有する。

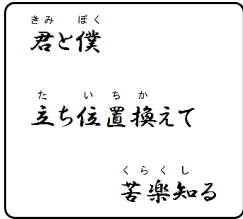
ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けて

効率的でメリハリのある働き方をすることにより労働時間を抑え、一人ひとりの多様な生き方を可能とする職場環境にしましょう。

一行詩



男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについて日々感じていること、将来実現させたいことなどをテーマに募集した一行詩「男女の詩」に市内外より 190 作品の応募がありました。各部門の最優秀賞作品を紹介いたします。



●一行詩部門
渡辺勇三さん
70代男性
(奈良県宇陀市)



●イラスト一行詩部門
富山慶人さん
20代男性会社員
(茨城県水戸市)

※その他入賞作品は公式HPをご覧ください。



男女共同参画古河市民ネットワーク(ゆめこらぼ) 会員企業募集!!

すべての男女が互いに尊重しあい、共に手をたずさえ、一人ひとりが自分らしく輝き心豊かに生活できる社会を実現するために、教育、文化、福祉、地域コミュニティ等市内で活動する団体、個人(H30.3月現在団体 28、個人 26)で活動し、イベント等での啓発活動や男女共同参画フォーラムの開催などを古河市や古河市男女共同参画推進会議と協働して行っております。

意識啓発の取り組みとして作成した“紙しばい”を紹介します。

●平成版 ももたろう

第1部 ももたろう「平成版ももこ誕生編」

おじいさんが川へ洗濯に、おばあさんが山へ柴刈りに行く?いつもと違うももたろう。川から流れてきた桃から生まれたのは女の子!「ももこ」と名付けて悪戦苦闘しながら家事を分担し、子育てをしていく話です。

第2部 ももこ おにたいじに行く

ももこが成長しておにたいじに!しかし、鬼が島での鬼達の生活は性別による固定的役割分担意識に縛られ長時間労働に喘ぎ、男女共同参画社会の実現がいま必要とされている話です。



●一寸ちゃんが行く

同じ年頃の男の子より体の小さな「一寸ちゃん」がふとしたことから日本中を巡る旅に出ます。

旅先で出会ったのは「かぐや姫」「浦島太郎」「つる?」・・・互いの違いを認め合う話です。

10

平成30年度は男女共同参都市宣言
周年記念フォーラムを開催します。